

研究課題名	簡易口腔ケアの医療関連感染症予防効果の検討
研究責任者名	広島大学病院 口腔総合診療科 助教 西 裕美
研究期間	2022年6月20日(倫理委員会承認後)～2023年3月31日
対象者	<p>2021年6月から2022年3月の間に、広島大学病院消化器外科、移植外科、心臓血管外科、呼吸器外科、呼吸器内科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、放射線治療科、消化器・代謝内科、血液内科、脳神経内科、脳神経外科、泌尿器科で1週間以上入院された患者さん。</p>
意義・目的	<p>口腔内は腸内と同等に最も細菌が多い部位であり、口腔内細菌を原因とした疾患治療中の合併症（肺炎など）を予防するために、口腔ケアは有効とされています。しかし、患者さん自身の口腔ケアがどの程度、感染に伴う合併症を予防するかはまだ解明されていません。今回、1週間以上入院する患者さんに口腔ケア用品を提供し、自身での口腔ケアを推奨することが合併症予防に繋がるのかを明らかにするために、この研究を計画しました。</p>
方法	<p>本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。</p> <p>カルテから使用する内容は性別、生年月、年齢、身長、体重、合併症、既往歴、現病歴、服薬状況、既往歴、生活歴（飲酒・喫煙）、抗菌薬処方状況、血液検査値（白血球数、白血球分画、赤血球数、ヘモグロビン、血小板数、総ビリルビン、AST、ALT、LDH、ALP、BUN、クレアチニン、TP、Alb、ChE、HbA1c、ナトリウム、カリウム、カルシウム、CRP、血液培養結果）、細菌検査・痰培養結果、口腔内検査値（歯式・歯周組織検査・口腔内細菌数測定・口腔内乾燥度測定・口腔環境/口腔内感染源リスク評価、パントモグラフィX線写真、デンタルX線写真、胸部X線写真、CT写真）、体温、血圧、脈拍、呼吸数です（個人を特定可能な情報は解析に用いません）。また、試料の微生物叢情報はDDBJ：DNA Data Bank of Japan（日本DNAデータバンク）に提供し、国内外の研究者間で共有します。</p> <p>前述の口腔ケアプログラムを実践する以前に対象科に入院された患者さんと、今回実践した後の患者さんの感染症に関わる因子を比較検討します。</p>
共同研究機関	対象なし
試料・情報の管理責任者	広島大学病院 口腔総合診療科 助教 西 裕美
個人情報の保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。</p>
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5744

広島大学病院 口腔総合診療科 助教 西 裕美

研究機関：広島大学